



住民自らの行動に結びつく
水害・土砂災害ハザード・リスク
情報共有プロジェクト

意見交換

- (1) SNSの活用
- (2) 解説の充実
- (3) 現地見学会

アンケート① SNSの活用について

Q1. 協議会参加団体の行政機関(※1)では、「X(旧Twitter)」等のSNSアカウントで平常時・緊急時の情報発信を行っています。SNSの活用について、選択、記入をお願いします。

| アンケート内容 | | 機関名 | | | | | | | | | | |
|--------------------------|--------|------|------|-------|-------------------------------|---|-----------|------|-------------------------------|-----------|---------|---------------------------------------|
| | | 毎日放送 | 読売新聞 | ラジオ関西 | JCOM | BAN-BANネットワークス | 姫路ケーブルテレビ | ペイコム | 猪名川河川事務所 | 豊岡河川国道事務所 | 神戸地方気象台 | 兵庫県 |
| (1) SNSアカウントのフォロワー数、ポスト数 | フォロワー数 | 3.4万 | ※1 | 9.4万 | 3142 (アカウント／J:COM 兵庫エリア) | BAN-BANテレビ:1,120 BAN-BANラジオ: 6,720 | 1348 | 1501 | 754件 (これまでの累計数) | 3150 | ※2 | ー(土木部のアカウントはなし)(兵庫県広報のアカウントで平常時の情報発信) |
| | ポスト数 | 20/日 | | 4.4万 | 374 | BAN-BANテレビ:1,167件 BAN-BANラジオ公式: 8,674件 | 3660 | 1日1回 | 20件(令和5年度) <※これまでの累計数164件> | 1675 | | |

※1) 読売新聞オンライン、神戸総局等、アカウント多数

※2) 気象庁本庁、他管区気象台等、アカウント多数

Q1.(1) SNSアカウントのフォロワー数、ポスト数

- ✓ 全機関でSNSアカウントを保有(全国区、地域密着型問わず)。
- ✓ フォロワー数は最大で9.4万アカウント、ポスト数は最多で毎日と機関によって様々。

アンケート① SNSの活用について

Q1. 協議会参加団体の行政機関(※1)では、「X(旧Twitter)」等のSNSアカウントで平常時・緊急時の情報発信を行っています。SNSの活用について、選択、記入をお願いします。

| アンケート内容 | 機関名 | | | | | | |
|-------------------------|----------|-------------------------|-------|----------|-------------------------|------------------------------|----------|
| | 毎日放送 | 読売新聞 | ラジオ関西 | JCOM | BAN-BAN ネットワークス | 姫路ケーブルテレビ | ベイ・コム |
| (2)猪名川河川事務所のアカウントをフォロー | × | × | × | × | × | × | × |
| (3)姫路河川国道事務所のアカウントをフォロー | × | × | × | × | × | ○ | × |
| (4)豊岡河川国道事務所のアカウントをフォロー | × | × | × | × | × | × | × |
| (5)気象庁のアカウントをフォロー | × | ○ | × | × | × | ○ | × |
| (6)兵庫県のアカウントをフォロー | × | ○ | × | × | ○ | ○ | × |
| (7)行政機関の投稿について、リポスト等の実施 | ④実施していない | ①実施している (平常時の情報発信のみ) | — | ④実施していない | ②実施している (緊急時の情報発信のみ) | ③実施している (平常時・緊急時の情報発信の両方) | ④実施していない |

姫路河川国道事務所
X(旧Twitter)



Q1.(2)～(7) 行政機関のアカウントフォロー状況

- ✓ 姫路河川国道事務所、気象庁、兵庫県のアカウントフォローを行っているメディア機関は3機関。
- ✓ 当該3機関はリポストも実施。

アンケート② 解説の充実について

Q2. メディア連携協議会を通じ、住民避難に資する解説の充実を図るため、Q.2(1)(2)のご回答をお願いします。

| アンケート内容 | 機関名 | | | | | | |
|-----------------------------|--|------|----------------------------------|---|---|--|------|
| | 毎日放送 | 読売新聞 | ラジオ関西 | JCOM | BAN-BANネットワークス | 姫路ケーブルテレビ | ベイコム |
| (1) 平常時の解説について、課題、不明点等 (※1) | — | — | ③その他コーナーなどを設けたいが、諸事情で難しい(緊急時は除く) | ①気象コーナーの解説 気象予報士資格を持つ社員がいないため自社対応できない | ②平時の啓発番組・コーナー 自社の防災士による防災啓発番組を実施しているが、目新しい話題を用意し頻度高く番組を更新していくことが難しい。地域メディアとして、地域の特性を反映した防災啓発をしたいが、一般的な内容になってしまうことも悩ましい。 | — | — |
| (2) 緊急時の解説について、課題、不明点等 (※2) | ②L字放送 Lアラートの避難情報が正確でなかったり、遅かったりすること | — | ④その他必要に応じて実施 | ①緊急番組・特設コーナー等 24時間体制で社員スタンバイしていないので、放送対応できる社員が出社できない可能性がある | ①緊急番組・特設コーナー等 弊社では災害対策本部が立ち上がってから緊急放送体制をとるが、他局ではどのタイミングで緊急放送の実施を始めているか知りたい。天気が荒れる前に避難する必要があるため、このタイミングが良いのか迷いがある。スタッフの経験値も課題。台風は進路も分かり事前に準備ができるが、地震に対しての緊急放送は実施経験がなく、いざ発災した時にどれだけのスタッフが集まれるのかも不明。他局ではどのように備えているのか知りたい。 | ①緊急番組・特設コーナー等 少人数のため、緊急番組に対応できるスタッフが少ない | — |

※1) 気象コーナーや、防災に関する平時の啓発番組・コーナー等
 ※2) 災害の危険度が高まっている状況での緊急番組・特設コーナー等

Q2.(1)~(2) 平常時・緊急時の解説についての課題、不明点

- ✓ 平常時の住民避難に資する解説の充実についての課題の一つは、専門知識を有する人材不足。また、目新しい話題を用意し頻度高く番組を更新していくことが難しいという悩みあり。
- ✓ 緊急時の住民避難に資する解説の充実についての課題の一つは、緊急対応できるスタッフの不在。また、緊急放送の実施タイミング、急な地震に対しての緊急放送の備えについて質問あり。

アンケート③ 現地見学会について

Q3. 来年度に、現地見学会の開催を検討しています。

ご希望の開催時期と開催場所について、選択、記入をお願いします。

| アンケート内容 | 機関名 | | | | | | |
|------------------------|--|------------------------|--------------|-------------------|-----------------------|--------------|--------------|
| | 毎日放送 | 読売新聞 | ラジオ関西 | JCOM | BAN-BAN ネットワークス | 姫路ケーブルテレビ | ペイ・コム |
| (1) 現地見学会を開催した場合、参加したい | 参加したい | 場所によっては参加したい | 場所によっては参加したい | 場所によっては参加したい | 場所によっては参加したい | 場所によっては参加したい | 場所によっては参加したい |
| (4) 現地見学会について、希望の開催場所 | ①河川整備箇所 ②大堰・ダム ③特徴的な取組・構造物 ④遊水地 | ①河川整備箇所 ③特徴的な取組・構造物 | 特にありません。 | ①河川整備箇所 ②大堰・ダム | ②大堰・ダム ③特徴的な取組・構造物 | ①河川整備箇所 | ②大堰・ダム |

- ①河川整備箇所※例：加東市滝野地区（加古川中流部緊急治水対策）
 ②大堰・ダム※例：加古川大堰（加古川）、加茂井堰（猪名川）
 ③特徴的な取組・構造物※例：豊堤・桜づみ（揖保川）、古新堰堤（加古川）
 ④遊水地※例：豊岡市中郷遊水地（円山川）

Q3.(1)～(4) 現地見学会について

- ✓ 現地見学会については、場所によっては参加を希望する機関がほとんど。
- ✓ 開催場所はメディア機関は概ね①河川整備箇所、または②大堰・ダムを希望。